

総務委員会資料

東海道かわさき宿交流館について

資料 東海道かわさき宿交流館について

平成24年8月1日

総合企画局

東海道かわさき宿交流館について

背景

川崎市は、東海道や大山街道などの街道と宿場、川崎大師の参詣などにおける人の往来と営みの中で文化を育んできた歴史的な経過がある。

とりわけ東海道川崎宿は、本市において重要な歴史的・文化的資源である。

また、これまでに地域からも東海道川崎宿の歴史、文化を学び、それを後世に伝え、地域活動・地域交流拠点となる施設の建設について提案・要望が出されてきた。

これまでの経過

- H 8 年度 「川崎市区づくり白書」
※東海道を活かした地域活性化を謳う
- H 1 3 年度 「大川崎宿まつり」
※1601年に東海道宿駅制度ができて400周年を記念して開催、実行委員会主催
- H 1 4 年度 「東海道川崎宿を活かした地域活性化方策検討委員会」が「東海道川崎宿 2023 いきいき作戦」を策定
※地域、商業及びまちづくり活動団体等の代表の方で構成、市が事務局
※提案内容：拠点づくり「(仮称)川崎宿おもしろ館」他
- H 1 5 年度 「(仮称)東海道川崎宿おもしろ館の整備に関する要望書」
※要望場所：水道分庁舎(現計画敷地)
- H 1 6 年度 「東海道川崎宿を活かした地域活性化推進組織」が発足(通称「東海道川崎宿 2023」)
※地域、商業及びまちづくり活動団体等の代表の方で構成、市が事務局
- H 1 7 年度 市が「東海道川崎宿まちなみまちづくりガイドライン」を策定
- H 2 0 年度
H20.8 「市立東海道資料館」建設要望(観光協会H21予算)→H22も同様
H21.3 「東海道川崎宿歴史資料館設立陳情書」(7,957名署名)
H21.3 「東海道川崎宿 2023」が「東海道川崎宿歴史資料館(仮称)整備基本構想」を策定
- H 2 2 年度
H23.2 市が「川崎駅周辺地域における文化資源等を活用したまちづくりの考え方」を策定
H22.8~10 「川崎駅周辺地域文化資源活用まちづくり懇談会」を開催
※地域、文化、商業及びまちづくり活動団体等の代表の方で構成、市が事務局
H22.11~12 パブリックコメント
H23.3 市が「(仮称)東海道まちづくり文化・交流拠点基本計画」を策定
H23.3 「東海道川崎宿 2023」が「東海道川崎宿 2023 いきいき作戦第2次巻」を策定
H23.3 市が「第3期実行計画」を策定 ※「(仮称)東海道まちづくり文化・交流拠点整備」
- H 2 3 年度 基本・実施設計
- H 2 4 年度 展示制作及び建築工事等
H24.6~ 「(仮称)東海道まちづくり文化・交流施設運営準備会」を開催
※地域、文化、商業及びまちづくり活動団体等の代表の方で構成、市が事務局

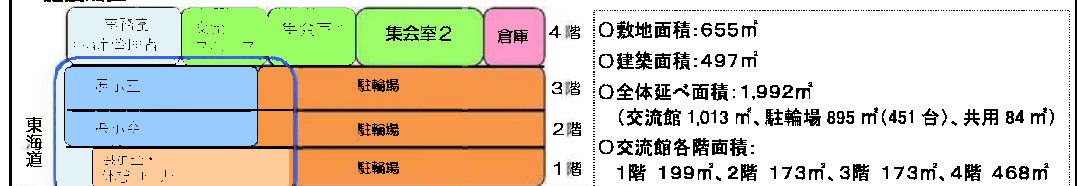
施設計画の概要

目 的：東海道川崎宿に関する歴史・文化等の資料の展示を行うとともに、市民相互の交流を推進し、もって市民の文化の振興に寄与するため、東海道かわさき宿交流館を設置する。

計画地：東海道沿道の川崎区本町に駐輪場との複合施設として整備する。

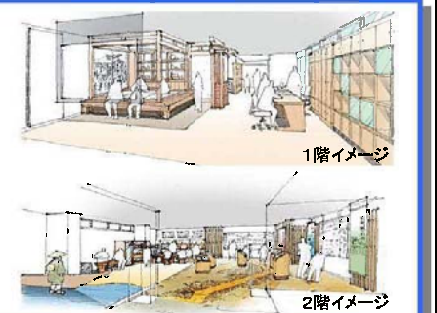


施設配置:



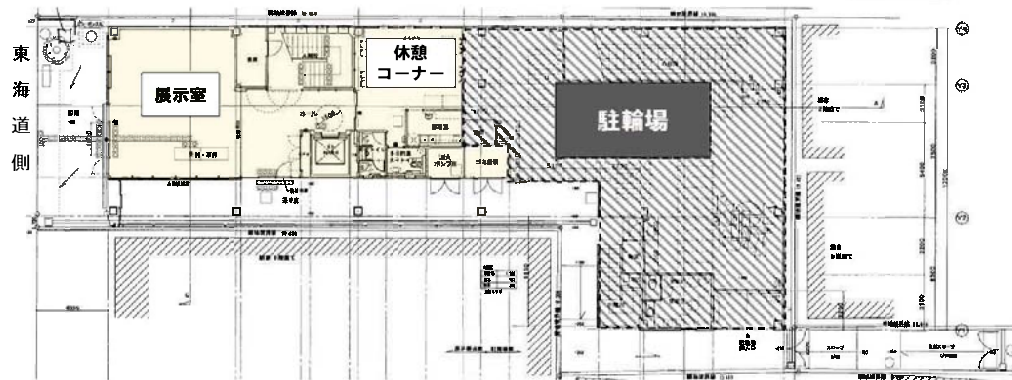
展示内容について(基本設計)

- テーマ 回遊(まちあるき)
- 展示の要素
 - ・東海道川崎宿
 - ・東海道川崎宿とつながる川崎の地域資源(人物・歴史 など)
- 展示の特徴
 - ・展示手法・・・楽しめる、身近に感じる体感展示
 - 体験型(ハンズオン)展示、映像を活用した展示
 - ・資料の扱い方・・・間近で見、いろんな発見を
 - 間近で見てもうため、複製・模造・コピー等での対応。
 - 貴重な資料や実物資料は所蔵先を紹介、回遊につなげる。

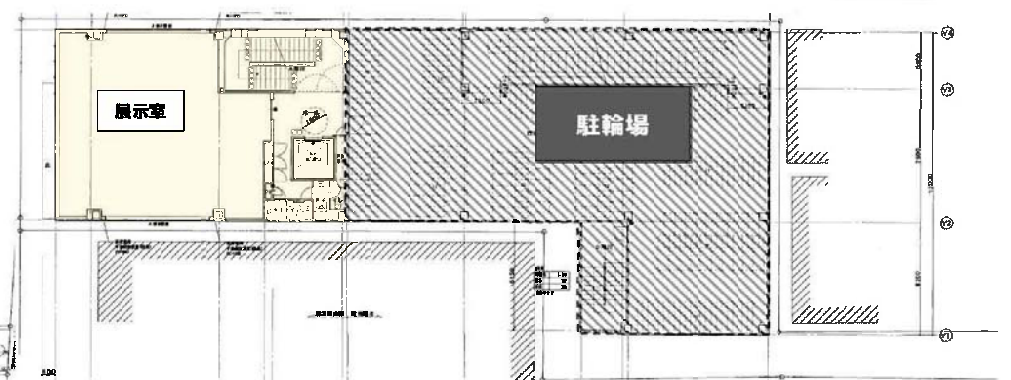


東海道かわさき宿交流館 各階平面図

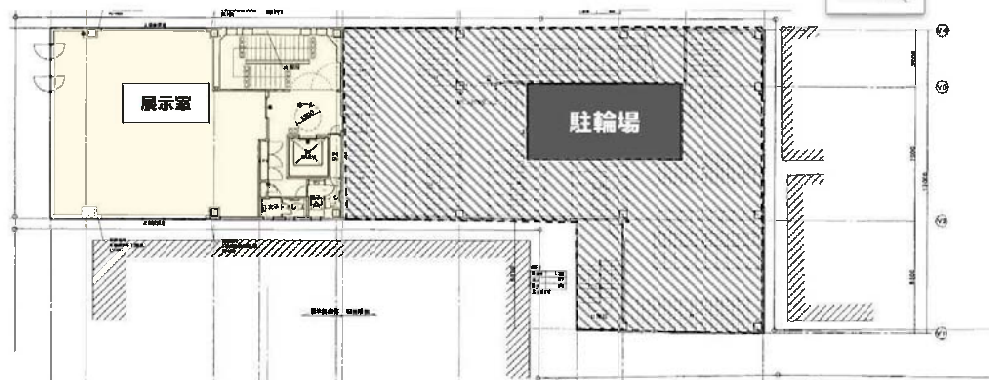
1 階



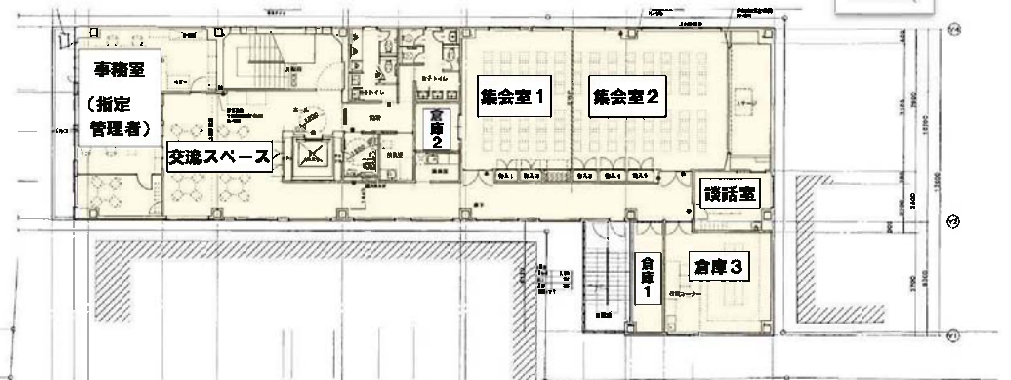
2 階



3 階



4 階



1階

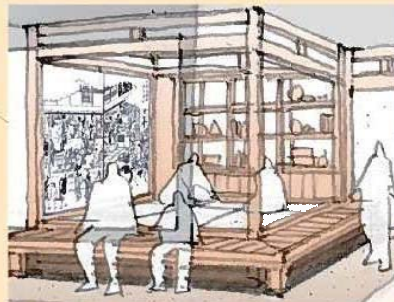
〈気軽に立ち寄り、休憩しながら情報にふれる〉

お休み処「万年屋」体験展示

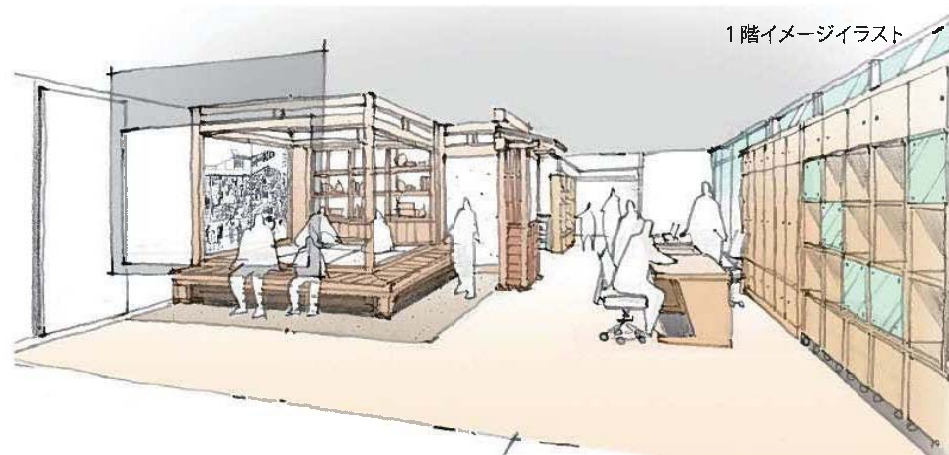


「江戸名所図絵」

川崎宿の茶屋として有名な「万年屋」の絵図をもとに、「万年屋」を再現した展示です。来館者が自由にお休み処の雰囲気を体験しながら、江戸時代の川崎宿の様子を再現した映像を見ていただくことができます。

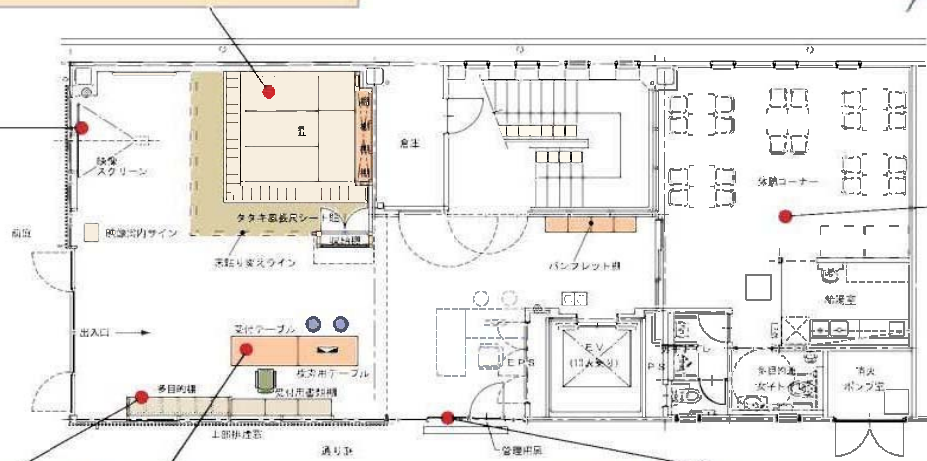


1階イメージイラスト



大型映像

東海道を臨む格子の中央にスクリーンを設置して映像を投影します。格子の外に見える現代の東海道の往来とスクリーンに映る江戸時代の東海道の様子を比較することにより、昔の格子に思いを馳せてもらうとともに、川崎宿の紹介をします。



休憩コーナー

ここは、休んだりお弁当を食べたりすることができる休憩場所であるとともに、まち歩きガイドツアー時のレクチャーなど、幅広く利用できるスペースです。



多目的棚

受付テーブル後ろの棚は、目隠しの扉として、書類などが入れられるようにします。また、入口に近い場所には、物販など多目的に利用できる棚を設置します。



受付（可動式）

受付テーブルは可動式とし、団体での利用やイベント開催時にはエレベーター脇に移動し、入口を広く使えるようにします。



夜間動線

1階～3階間階段に4階集客室を利用する際は、通り庭側の出入口を使用します。両側の休憩コーナーや受付側には、シャッターおよび扉で一般の方が出入り出来ないようにします。（エレベーターは1階⇄4階とします）



休憩ガイドレクチャー等イメージ

2 階

〈東海道川崎宿のかつての姿を見て体験して知る〉

江戸時代の川崎宿のようす

2階展示室の導入は、六郷川を渡り川崎宿へ入っていく設定です。入口の両側の壁には「六郷渡し」の絵図、室内に入ると川崎宿の様子が分かる絵図風イラストが床面に広がります。そして、その絵地図の上に川崎宿ものがたりBOXを配置し、この川崎宿で起きた様々な物語を、装飾模型や映像、グラフィックなどで来館者に伝えます。



川崎宿ものがたりBOX

川崎宿で起こった「物語」を模型と映像を融合させた装置や、大判の冊子、バナーなど様々な手法で楽しく伝えます。

川崎ものがたりBOXで扱うテーマ

- ・六郷の渡し
- ・万年屋
- ・田中本陣
- ・佐藤本陣
- ・八丁蔵
- ・問屋場
- ・沼毛神社
- ・川崎大師
- ・高札場



東海道全景

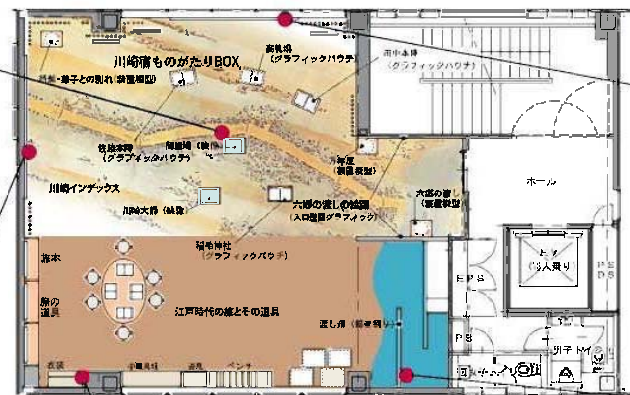
東海道の全景を伝えるとともに、川崎宿から先へとつながる東海道の各宿場の様子を伝える絵図を配し、東海道の全容を見せます。



グラフィックイメージ

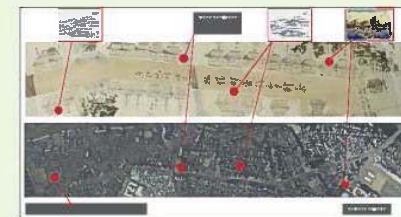


2階イメージイラスト



川崎宿解説グラフィック

壁面には、川崎宿の絵地図と現在の街の航空写真を並べて展示し、当時の川崎宿のスポットごとの解説とあわせて、現在の街との対比ができるようにします。



江戸時代の旅とその道具

旅の道具

江戸時代東海道を旅した人々が持っていた道具(模造)を設置します。



旅本 (コピー)

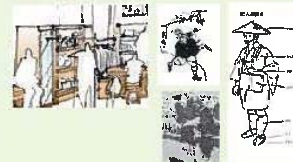
旅の心得などが書かれた江戸時代のガイドブック(コピー)を設置。手に取ってじっくり見ることが出来ます。江戸時代の旅の楽しみ方を伝えます。



『旅行用心集』

旅姿

江戸時代の旅装束を用意。昔の旅姿写真などを撮ることも出来ます。



記念撮影スポット「六郷の渡し」

川崎宿を訪れた記念として、六郷の渡しの絵図を演出したコーナーで写真を撮ることが出来ます。



3 階

〈東海道川崎宿とつながる川崎の地域資源を知り、市域へ足を伸ばす〉

3 階イメージイラスト



映像コーナー兼企画展示スペース

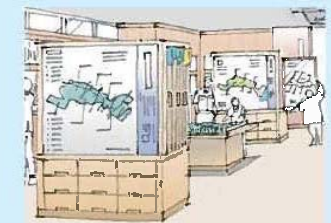
通常は、川崎のニュース映像が見られる映像コーナーとし、必要に応じて企画展示ができるスペースとします。



映像コーナーのイメージ

東海道今昔インデックス

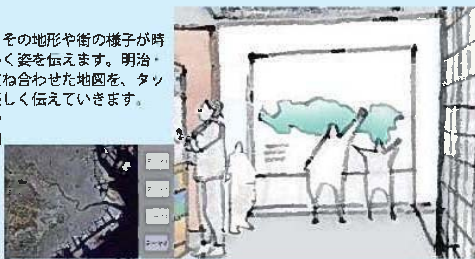
東海道川崎宿とつながる川崎の地域資源を紹介します。
「街道」「鉄道」「多摩川」「二ヶ領用水」「臨海部」など、東海道川崎宿とつながるテーマを「見出し」として掲げます。そのテーマを象徴するもの（模型やグラフィック）、今昔が比較できる地図、テーマに沿った地域資源（写真）を出し展示）で構成します。
地域資源は、展示替えができるように、また興味を持てる工夫として引き出し内に展示し、宝探しのように見てもらいます。例えば、「街道」、「鉄道」では、江戸時代の街道、明治期の陸奥気や大師電気鉄道などを紹介し、道をぎっかくとした、まちの変化を伝えます。



川崎情報タッチパネル

川崎市全域について、その地形や街の様子が時代とともに変化していく姿を伝えます。明治・大正・昭和・現在と重ね合わせた地図を、タッチパネルによって、深く伝えていきます。また、併せて、産業や人物など様々な切り口で川崎市の地域資源を伝えます。

画面イメージ



東海道川崎宿とつながる川崎の風景

①東海道と川崎市のあゆみ

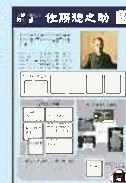
東海道の年表と合わせて、江戸時代から現代に至るまでの川崎市の年表を紹介し、川崎の発展のあゆみを語ります。また、川崎宿から川崎駅、臨海部へと成長する産業など、特筆すべき事柄をトピックとして取り上げ、丁寧に語っていきます。



川崎の発展を写真の比較など、ビジュアルに分かりやすく見せていきます。

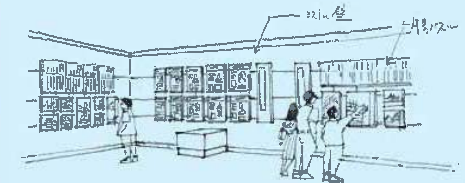
②東海道にゆかりのある人物

東海道にゆかりのある人々を紹介するためのパネル展示です。



③東海道をとりまく川崎の民俗

東海道から分岐した大師道の賑わい大師詣、多摩(六郷)川に近年まで残っていた筏流しなど、東海道をとりまく文化や風習・風俗を紹介して行きます。



東海道かわさき宿交流館 施設の概要及び開設に向けたスケジュールについて

1 施設の概要

①施設名称について

- ・「東海道かわさき宿交流館」を想定している。

②管理・運営について

- ・指定管理者制度を導入することを想定している。

③入館料について

- ・無料で入館することができ、集会室等は利用料金制度を採用することを想定している。

④利用時間について

- ・利用時間については、下記を想定している。

1階～3階 展示室、休憩コーナー	午前9時～午後5時
4階 集会室等	午前9時～午後9時

⑤休館日について

- ・休館日については、下記を想定している。

1階～3階 展示室、休憩コーナー	月曜日（ただし、祝日と重なる場合は翌平日）、 12／29～翌年1／3
4階 集会室等	12／29～翌年1／3

※ただし、④、⑤について指定管理者は利用時間の延長、開館日の拡大ができることを想定している。

⑥交流館の機能について

- ・資料の展示
- ・東海道川崎宿に関する情報の収集及び提供
- ・東海道川崎宿に関する活動の支援
- ・施設等を利用に供すること
- ・その他設置目的を達成するために必要なもの

2 開設に向けたスケジュール

平成24年度

○9月（議会）

東海道かわさき宿交流館 設置条例上程予定

○10月～11月

指定管理者募集予定

○12月

民間活用推進委員会 事業者選定予定

○3月（議会）

指定管理者の指定 議案上程予定

平成25年度

○開館準備予定

指定管理者との協定書締結予定

○夏～秋

開館予定